

人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



2007 「キャバレーデカダンス」



2009 「スズの兵隊」



2010 「かぐやひめ」

2007年、当時子ども劇場企画説明会が3月にあり、
 杷木フェスと呼ばれる見本市が同時開催されていた
 時代。私も自身が出演する作品を紹介のため参加し
 ていたが、全く手応えがつかぬ、誰とも交流するこ
 とができなくて意気消沈していたその夜、出会った舞台
 がSOMA INTERNATIONAL『キャバレー
 デカダンス』。個性的でグロテスクな人形た
 ちを音楽1曲に合わせて、そのキャラクターの人生を艶っ
 ぽく表現する、演者の2人は全身を駆使し自身の体も
 人形の一部として扱い、2人の手足と人形が一体化す
 る初めて見るスタイルのパフォーマンスでした。ヌーボー
 シルクで有名だったケベック州でしたが、こんな芸術も
 生み出されているのかと勉強になりました。めっきり無
 口になっていた私でしたが、翌日温泉で彼らと出会い、
 楽しく会話をした唯一の相手でした。あれ？何語で??

2009年、国際児童演劇フェスティバル大阪Tactan
 で公演の合間に見たドイツのマイニンゲン人形劇団
 『スズの兵隊』。体育館のような場所にエ
 アードームに空気を入れるところから始まり、なんとそ
 の中に案内されて舞台がスタート。50名ほどの客席を
 白いドームが360度囲みます。中央で演じられるドラ
 マと周囲に映し出される人形や操者、舞台セットの影
 が観客をファンタジーの世界へ誘う。観客の期待を
 超えた演出で、主体的に舞台を楽しめる仕掛けが素
 晴らしかった。定員が少ない割にとっても大掛かりで印
 象的でした。

2010年、名古屋市北区の集合住宅の敷地内にあ
 る小さな集会所、私たち数人のためだけの試演会を開
 催してくれた、ゆめみトランク『かぐやひめ』。
 目鼻立ちのはっきりした美しい人形造形、2人の演者
 が変わるがわる人形を操り、役を演じ、ケコミを飛び出
 し、変幻自在、奇想天外、神出鬼没、波乱万丈、ギャグ
 満載でありながら、ラストシーンでホロリと泣ける。この
 鑑賞後、幾度となく見続け、共演もさせてもらった思い
 出深い作品です。

愛知人形劇センター理事 Chang



令和6年度(2024年度)通常総会のご報告

愛知人形劇センター2024年度通常総会が、5月13日に損保ジャパン人形
 劇場ひまわりホールにて開催されました。
 コロナ禍を越えて35周年を迎える年となる今年度ですが、諸物価高騰や
 円安、公的助成金の減額という逆境を乗り越え、人形劇を始めとした舞台
 芸術活動をいかに守り発展させられるのかを考える総会となりました。
 今年度は役員改選にあたり、新たな理事2名を迎えました。新理事を迎え、
 愛知人形劇センター理事会は30代40代が半数を占めるという、若手中心
 の運営体制へ転換していきます。また、今後4年を見通した新しいプロジェ
 クトのスタートとともに、事務局体制の強化を図ることが確認されました。
 愛知人形劇センターは、これからも損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
 を拠点に、愛知県中部地区における人形劇演劇文化の発展啓蒙を目的に、
 様々な事業を発信していきます。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

P新人賞NEXT 上演団体募集!

全国から2団体を募集し、舞台芸術の第一線で
 活躍する講師陣と格闘しながら、ひまわりホールで
 作品創造に臨みます。あなたの団体も“P”の新たな
 水平を覗いてみませんか?

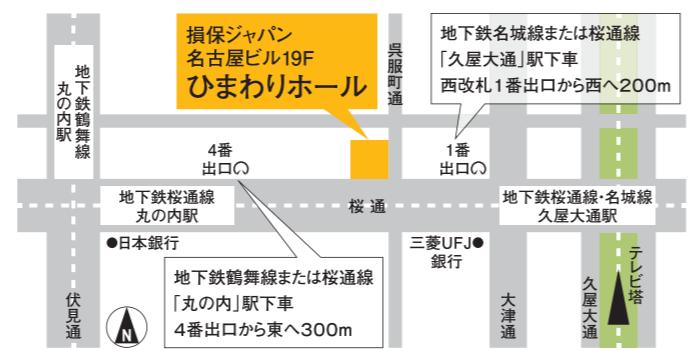
応募締切：2024年8月31日(土)
 資料請求：mail@aichi-puppet.net

特設サイトはこちら！



パペットのP&パフォーマンスのP

～人形劇の新たな創造の可能性を追求するクリエイションワークショップ～



特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
 損保ジャパン名古屋ビル8F
 TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
<https://aichi-puppet.net/> MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
 ひまわりホール情報誌
あぶ
 愛知人形劇センター
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
 損保ジャパン名古屋ビル8F
 TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
<https://aichi-puppet.net/> MAIL:mail@aichi-puppet.net

2024 SPRING
 VOL.325
<https://aichi-puppet.net/>

Aichi
 Puppetry
 Center

あぶ

ひまわりホールから
 発信する
 シアター情報誌

恋愛相談
 15分2,000円
 なんでもござ

P新人賞、次なるステージへ!

P新人賞 NEXT THE STAGEより
 老若男女未来学園「一度に全部は無理だとしても」(写真上)
 宇都企画「風吹く丘の古びたお屋敷」(写真下)

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。